第三講・暮らしと道（説明文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

江戸時代になると、幕府は、国を治めるためにも経済の繁栄のためにも道が重要であると考え、古い道を整備し、新しい道を開くことに力を注いだ。①街道には、一里（約四キロメートル）ごとに、遠くからでも見える大きなつかを造った。つかを目印にして、人は歩いたきょりを知ることができた。道の両側には、すぎや松の木を植えた。それらの木々は、冬の冷たい風と、夏の強い日ざしを防いだ。また、二里くらいの間隔で*宿場を設けて、荷物を運ぶ人と馬とを用意した。

②人々は、安心して旅を続けることができるようになった。すると、旅人を相手にする宿屋・茶店のほかに、かごや馬で人を運ぶ商売などもさかんになって、道はますます活気づいてゆく。

必要にせまられて旅をする人だけではなく、③楽しみで旅をする人も出てきた。寺や神社へお参りする旅もそうで、お参りに行く道を歩きながら、人々は、美しい風景や人の情けにふれて心がなごみ、自分の住んでいる村にはない、暮らしの知恵なども知った。

また、道に沿った所に住む人々も、旅人や旅芸人や行商人から、世間のできごとやめずらしい話を聞いたり、薬などの生活に必要な品物を手に入れたりすることができた。道は、通っていく人と住んでいる人とがふれ合う、貴重な場所でもあったのである。

〈西山　妙「暮らしと道」より〉

＊宿場＝街道の途中にある、旅人をとめたり休ませたりする設備のある所。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) ――線①「街道」は、何のために整備されたのですか。文中の言葉を使って二つ答えなさい。

(2) ――線②「人々は、安心して旅を続けることができるようになった」のはなぜですか。次の中からふさわしくないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 街道沿いに宿場が設けられ、道の半ばで休むことができたから。

イ すぎや松の並木（なみき）が、冬・夏の厳（きび）しさを防いでくれたから。

ウ 街道につかが造られ、歩いたきょりがわかるようになったから。

エ 旅をする人すべてに、荷物を運ぶ人や馬が用意されたから。

(3) ――線③「楽しみで旅をする人」とありますが、楽しみでする旅の例を文中から十一字でぬき出しなさい。

(4) この文章におけるまとめを述べている一文を文中からぬき出し、初めの五字を答えなさい。（、や。も一字と数えます。）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

明治時代になると、①道は変わっていった。人と、荷物を負った牛や馬が歩くだけだった道に、人を乗せて走る人力車が現れ、大勢の人を乗せた大型の馬車も、風のように走るようになった。それは、文明の開化を告げる明るい光景であったことだろう。けれど、人と道との結びつきは、そのころから少しずつ失われ始めたのである。

自動車が初めて輸入されたのは、明治時代の半ば過ぎだった。それから百年以上が過ぎ、今、わたしたちは、車社会の中に生きている。トラックが大量の物を、しかも早く輸送し、人々は車を使って快適に目的地へ行くことができる。そして、こうした時代にふさわしく、②道路は山々をぬけ、島と島をも結び、縦横（じゅうおう）に広がっているのである。

一方、わたしたちの周りの道を見ると、車があふれるように行き来し、車だけの通路になっていることが多い。そこで、近年では、歩く人を主役に考える新しい道造りが、各地で試みられている。

例えば、人だけが歩く遊歩道。木や草花を植え、水のせせらぎなども設けた道。ベンチでくつろげるような場所をもった道。あるいは、車を通さない区（く）域（いき）を町の中に決めている所もある。いずれも、単なる通路ではない道を求める③人々の願いから生まれたのであろう。

④新しい試みは、しだいに広がっている。一つ一つの道が、わたしたちの暮（く）らしにとけこんでいくにつれて、「生活の場」としての道、「人と人がふれ合う場」としての道は、再び息をふき返すにちがいない。

〈西山（にしやま）　妙（たえ）「暮らしと道」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1) ――線①「道は変わっていった」とありますが、ⓐどう変わっていったのですか。また、ⓘどんな問題が出てきましたか。ⓐは□にあてはまる言葉を文中からぬき出し、ⓘは文中の言葉を使って答えなさい。

ⓐ □と□□□が歩くだけだった道に、□□□や□□□□□が現れて、風のように走るようになった。

ⓘ □

(2) ――線②「道路」とありますが、それを説明した次の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□で生きる時代にふさわしい道。

---

(3) ――線③「人々の願い」とありますが、どんな願いですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 車を使って快適に移動することができる通路を求める願い。

イ 生活の場、人と人がふれ合う場としての道を求める願い。

ウ 物を早く輸送するために、縦横に広がる道路を求める願い。

エ 車を通さないで、人だけが歩くことができる道を求める願い。

□

(4) ――線④「新しい試み」とありますが、どんな試みかを示している言葉を、文中から十六字でぬき出しなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講・確認テスト

次の漢字の中で、総画数が他と異なるものを一つ選びなさい。

１　ア　争　イ　仮　ウ　交　エ　防

２　ア　希　イ　私　ウ　色　エ　兵

３　ア　服　イ　厚　ウ　迷　エ　革

４　ア　専　イ　速　ウ　退　エ　飛

５　ア　庭　イ　席　ウ　俳　エ　終

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　暮らしと道（説明文）

一題目

(1) 国を治めるため。
経済の繁栄のため。（順不同）
(2) エ
(3) 寺や神社へお参りする旅
(4) 道は、通っ

二題目

(1) ㋐人・牛や馬・人力車・大型の馬車
㋑（例）人と道との結びつきが、少しずつ失われ始めたという問題。
(2) 車社会
(3) イ
(4) 歩く人を主役に考える新しい道造り

〈確認テストの解答〉
１　エ　２　ウ　３　ア　４　イ　５　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。